

2021年度
講義概要（シラバス）
3年生

松江総合医療専門学校
理学療法士科

科目区分	専門分野	履修条件			
科目名	臨床実習Ⅱ	単位数	16	開講年次	3年
担当教員	安平光一郎、内田賢、内田武、 福島卓、馬庭春樹、橋本康平、 川島直也	授業場所（教室）			
実務経験	総合病院で理学療法士として勤務経験あり。				
授業形態	診療参加型臨床実習				
授業内容	実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する理学療法評価から治療プログラムの立案という一連の過程を総合的に実習する。				
授業科目の 学習教育目標	理学療法の流れを理解し、臨床内容の意義を理解した言動を取る。 チーム職種の考え、行動を理解し、チーム職種が考えた臨床推論について説明できる。 自らの考えを模倣的に発する経験を積む。				
到達目標 (行動目標)	①理学療法士としての基本的姿勢を身につける。（身だしなみ、言葉遣い、規則厳守） ②患者様に対して医療人としての対応ができる。 ③理学療法士の施設での位置づけ、業務内容が理解できる。 ④臨床実習に意欲的、積極的に取り組むことができる。 ⑤評価に必要な情報を他部門やカルテより収集できる。 ⑥妥当性のある目標の設定ができる。 ⑦仮説立案をして問題点の抽出ができる。 ⑧抽出した問題点に対して、必要な検査・測定ができる。 ⑨検査測定の結果について解釈ができる。 ⑩治療プログラムの立案ができる。 ⑪基本的な理学療法治療を、指導を受けながら適切に実施できる。 ⑫記録・報告が適切な時期・方法で行える。				
週	実習計画				
	臨床実習Ⅱ（16単位）は2回（2期）に分けて実施する。 客観的臨床能力試験（OSCE:2時間） 実習施設における実習（640時間：1期320時間） ・見学、模倣、実施を段階的に指導者の判断の下、リスクの低い患者様、指導の下、実施可能な患者様において評価、治療等を行う。 ・日々の関りの中で、入院から退院までの流れを知るとともに、ゴール設定、問題点の抽出、治療プログラム立案の考え方を指導者より学ぶ。 実習施設：医療提供施設（病院、診療所、老人保健施設） 課題（76時間）：自己チェックシート、問題点と努力目標（実習前後に記入） 臨床能力総合試験（OSCE：2時間）				
成績評価	提出物、実習評価表およびOSCEの結果より総合的に判断する。				
教科書及び参考書	特に指定しない				
教材 (例:パソコン・ビデオ)	特に指定しない				
メールアドレス					
備考（受講に際する留意点など）					
これまでの学習内容や、評価・検査に関する技術などを確認しておくこと。 臨床実習Ⅰで、介護老人保健施設や特別養護老人ホームで実習を行った者は、2回とも病院もしくは診療所で実習を行う。 臨床実習Ⅰで、病院又は診療所で実習を行った者は、1回か2回、病院もしくは診療所で実習を行う。					

科目区分	専門分野	履修条件			
科目名	理学療法セミナー	単位数	6	開講年次	3年
担当教員	安平光一郎、内田賢、内田武、福島卓、馬庭春樹、橋本康平、川島直也	授業場所（教室）			
実務経験	総合病院で理学療法士として勤務経験あり。				
授業形態	講義形式				
授業内容	臨床実習に臨むにあたり、学内で習得した共通分野・専門分野の知識と技術を再確認する。実習後には実習で経験した症例を発表することで、経験できなかった学生に対し理学療法の計画や介入方法、リスク管理についての知識や技術を高める。				
授業科目の学習教育目標	臨床で実践できるために今までの学んだ知識を深め、理学療法の基礎的な実践力を高める。				
到達目標（行動目標）	理学療法を実践するために必要な知識や具体的な実践方法のすべてを再度学修する。臨床実習で実際の症例の方に基本的な検査や治療が実践できる。				
回数	授業計画				
各1回 6時間	1 解剖学①	11 骨関節障害②	21 基本的介入		
	2 解剖学②	12 神経筋障害①	22 疾患別評価		
	3 解剖学③	13 神経筋障害②	23 疾患別介入		
	4 生理学①	14 内部障害	24 症例報告会①		
	5 生理学②	15 老年期障害	25 症例報告会②		
	6 生理学③	16 小児・発達障害	26 症例報告会③		
	7 運動学①	17 精神障害	27 症例報告会④		
	8 運動学②	18 心理学	28 症例報告会⑤		
	9 運動学③	19 実地	29 症例報告会⑥		
	10 骨関節障害①	20 基本的評価	30 まとめ		
成績評価	セミナー試験、出席・授業態度などを総合して評価。				
教科書及び参考書	配布資料 これまでに購入した全教科書				
教材 (例:パソコン・ビデオ)	特に指定しない				
メールアドレス					
備考（受講に際する留意点など）					
グループワークを中心に実施していきます。疑問などを積極的にグループ内で共有し、話し合い解決していくように心がけてください。					